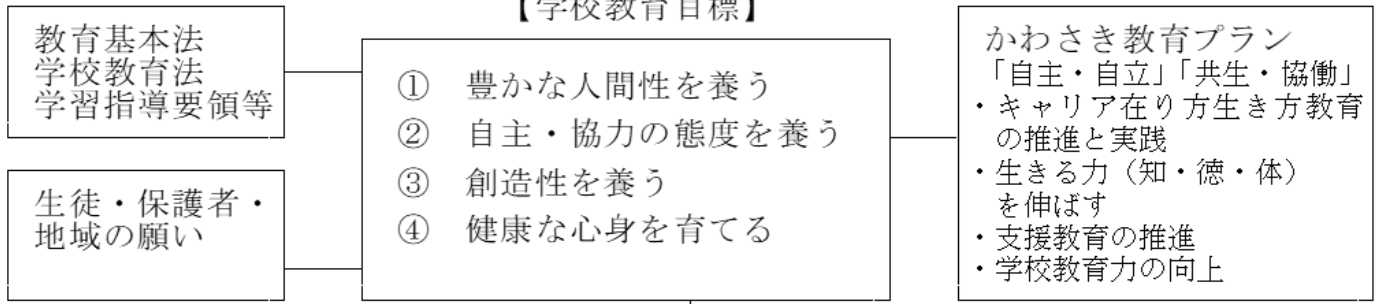


【学校教育目標】



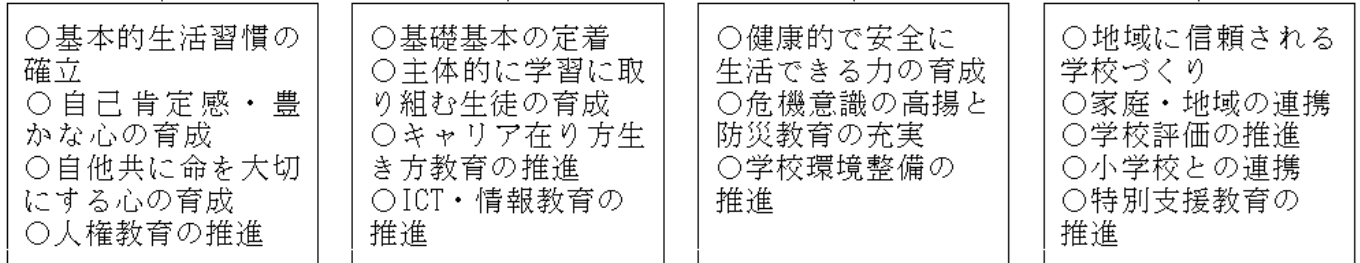
【学校経営方針】

社会の一員として自立して生きる力を育てる

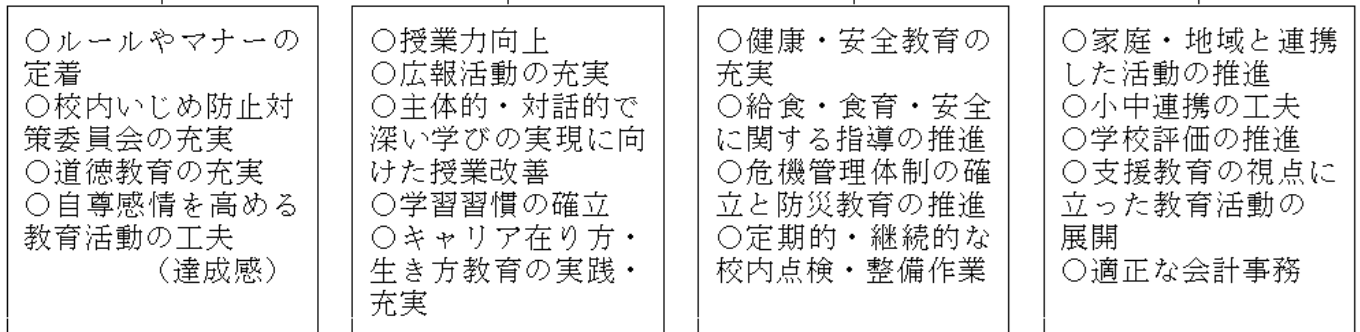
同僚性
チームワーク



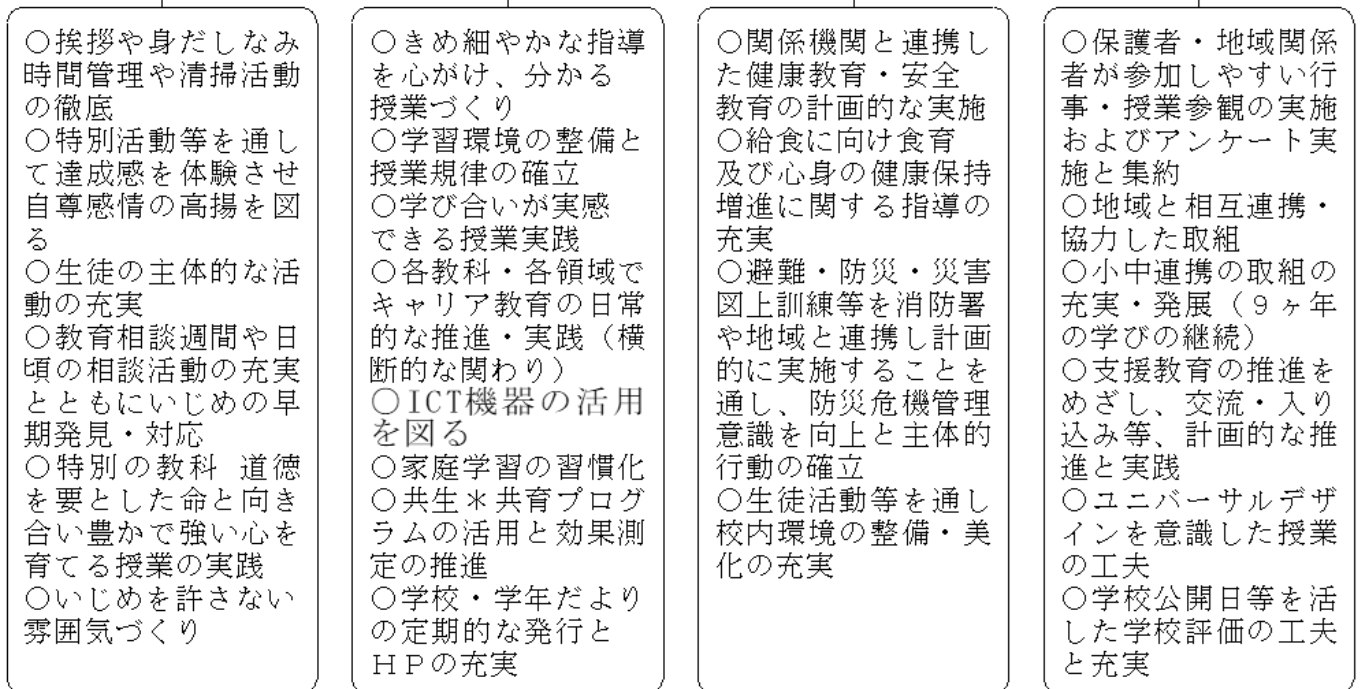
【中期経営目標】



【短期経営目標】



【具体的な取組】



本年度の指導に当たって

今、社会は、「新型コロナウイルス感染症」「大規模自然災害」「脱炭素社会」「社会のデジタル化」「国際情勢」など予測が困難な状況の中、今年度、本校は創立77年目を迎えます。

【生徒に身につけさせたい課題】

①「自己肯定感を高める」②「基礎学力の向上」の2つと考えています。

- ①については、(1) 生徒が様々な場面で活躍できる場を設定すること。
(2) 褒めて・認めて個々の可能性をのばしてあげる姿勢をもつこと。
- ②については、(1) 教職員の授業力向上が重要であること。
(2) 家庭学習の定着を図ること。

社会との連携及び協働により、その実現を図る「社会に開かれた教育課程」を重視されていることや生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることが必要です。

学校は生徒のためにあり、我々教職員は生徒のことを第一に考え、短期的・長期的な視点で、「育てたい生徒像」を目指していかなければなりません。

そして何よりも大切なのが「授業」です。生徒全員が「学ぶことの楽しさ・喜び」を感じさせることを目指してください。

「勉強」だけでなく「部活動」も「学校行事」もすべてに全力で取り組むことで、いかなる課題も乗り越えていく精神力や体力が身につくし、人として成長していくことができると考えます。

「全力を尽くすべきことを選ばない」「やるならすべて全力でやりなさい」ということです。

【教育現場の課題】

様々な課題が山積しています。現状を考えると、「いじめ防止」「不登校対策」があると考えます。生徒と教職員が互いを尊重して信頼ある人間関係を築き、「いじめは絶対に許さない・させない」というしっかりとした気持ちをもって対応していきたいと思えます。

また、不登校生徒が、安全で安心する心の「居場所」がある魅力的な学校づくりを目指さなければなりません。

そして、もう一つ喫緊の課題として「インターネットやスマートフォンの問題」があげられます。「グループトーク上でのトラブル」「誹謗中傷や悪評の書き込み」「なりすまし」「誘い出し」「出会い系」「自撮り写真の交換」など学校では対応しきれない問題が起きています。

こうした様々な課題に対しては、関係諸機関との連携、そして、個々の教員の経験や努力に頼るだけでは、解決を遅らせ事態を悪化させるため、組織として取り組むことが必要であり、全職員への周知し、多方面からの確、迅速に対応できる「組織づくり」が重要であると考えます。

そのためにも、教職員同士のコミュニケーションを大切に、学校のチーム力を高めることが目指していきたい。そこで、今年度も…。

【受信する「アンテナ」ではなく、探索する「ソナー」】

○何よりも生徒の身近にいる私たち教員が…。

- ・電波が届くのを待つだけの「アンテナ」ではなく、こちら側から積極的に電波を発して
- ・異常事態を探索「ソナー」を持たなければならない。

大切な子どもを預かる訳ですから、生徒の安全・安心を最優先し、社会に出て行くために必要な様々な力を、教育活動を通して、身につけさせていきたいと考えていますので、1年間、力を合わせて、全力で大切な子どもの「支援・指導」に当たっていきましょう

【スローガン】「チーム田島」で取り組もう！

元気な田島！「あいさつ・思いやり・学び合い」

- 元気なあいさつで笑顔あふれる学校
- 思いやりあるいじめのない学校
- みんなで学び合う楽しい学校

【指導・取り組みの留意点】

○ 生徒とともに

- ・愛情をもって生徒に寄り添い、丁寧な指導・対応を心掛ける。
- ・生徒とともに活動し、活気のある部活動を展開する。
- ・「あきらめない、切り捨てない、見捨てない」愛情ある粘り強い指導をする。
- ・すべての生徒が夢を堂々と語り、自己実現に精一杯努力できる。

○ みんなでともに

- ・他人任せにしない。一人で抱え込まないで協力して取り組む。
- ・報告、連絡、相談を密にし、共通の認識、意識を持って取り組む。
- ・保護者、地域、教職員すべての大人と生徒がにこやかに語り合える。